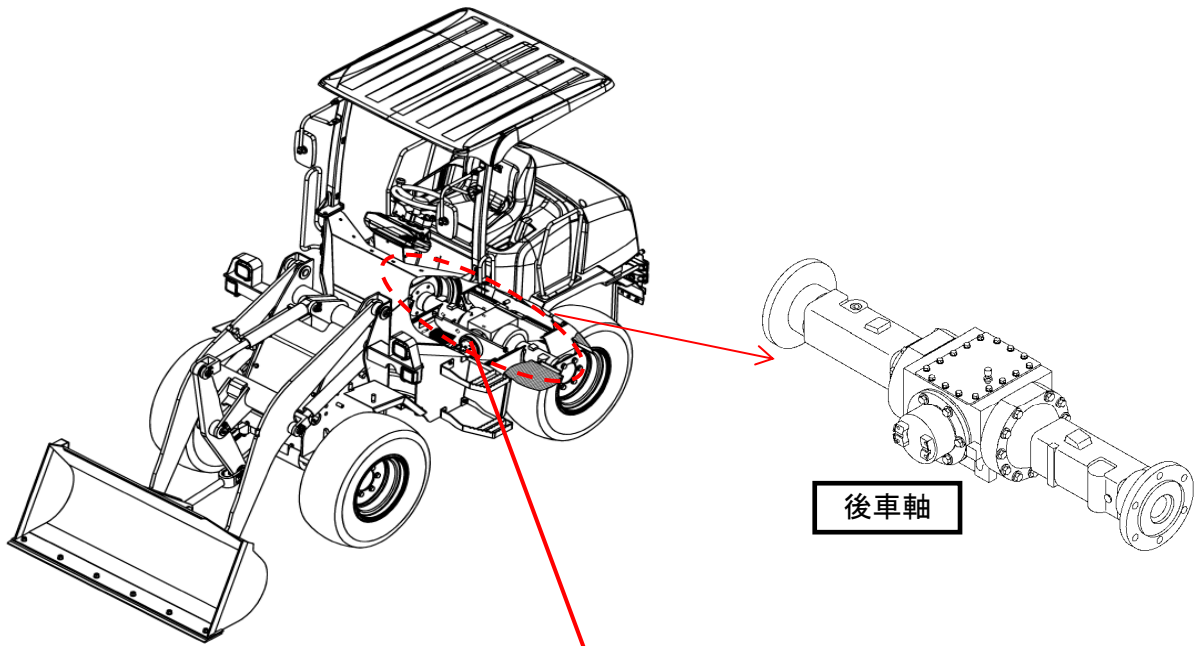


【改善箇所説明図】

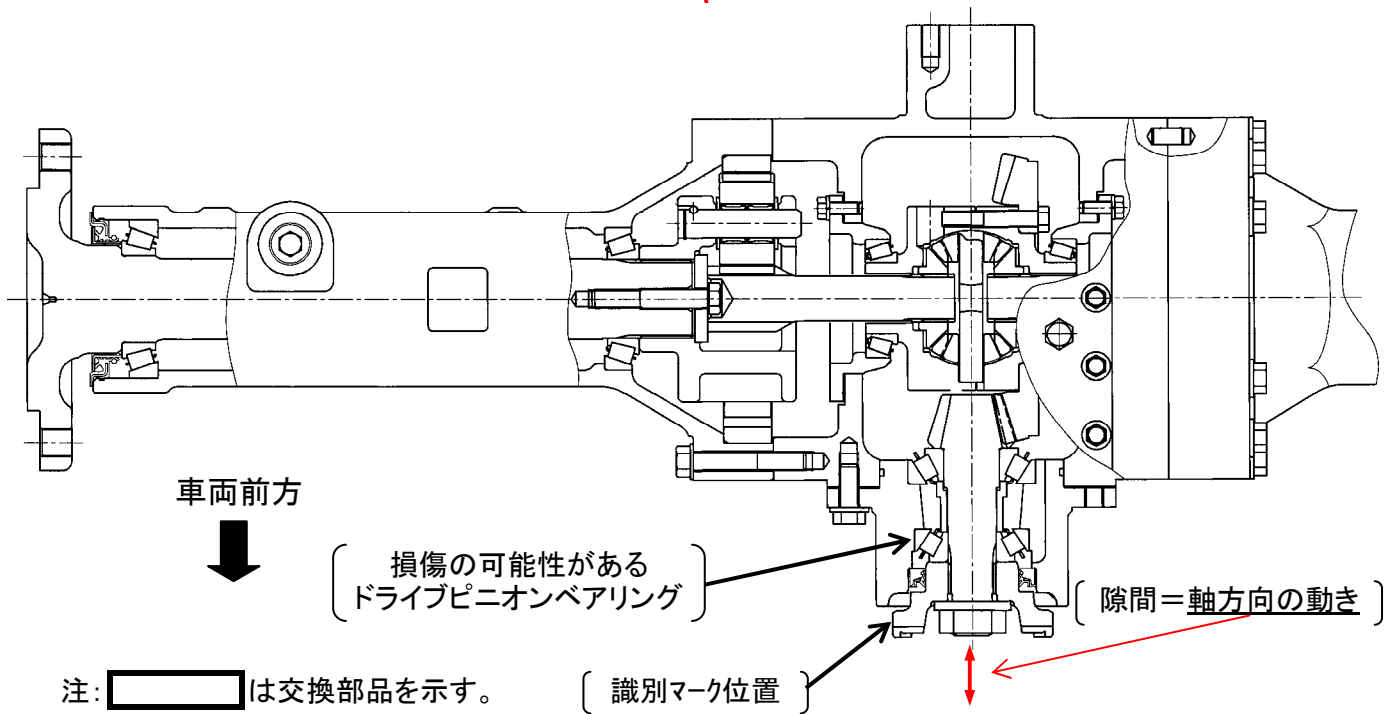


【不具合発生箇所】

後車軸のディファレンシャルにおいて、ドライブピニオンベアリングの組み付け調整が不適切なものがある。そのため、短時間の稼働でベアリングが損傷し、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、原動機運転時間計を確認し運転時間300時間以内の車両について、当該ベアリング部の隙間を点検する。点検の結果、隙間が基準値より小さい場合は後車軸を交換する。



識別: 対策完了車については、後車軸のドライブピニオンシャフトに白色のペイントでマークを表示する。